



TITLE:

<研究・技術報告>瀬戸臨海実験所
構内に出現した熱帯性ゴキブリ類
の第3番目の種サツマゴキブリ(ゴ
キブリ目、ゴキブリ上科)

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. <研究・技術報告>瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴ
キブリ類の第3番目の種サツマゴキブリ(ゴキブリ目、ゴキブリ上科).
瀬戸臨海実験所年報 2009, 22: 36-36

ISSUE DATE:

2009-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179086>

RIGHT:

瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第3番目の種 サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科)

久保田 信

Appearance of the third species of a tropical cockroach, *Opisthoplatia orientalis* (Blattaria, Blattoidea), in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory at Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

Shin Kubota

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県白浜町 459)

世界に約 3000 種, 我が国に約 40 種が生息するゴキブリ類のうち, 南方系のゴキブリ類の 1 種であるサツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* は, 白浜町では 2002 年 7 月に江津良の海岸道路上で著者が遭遇 (檜山・久保田, 2002) して以来, 町内のいろいろな場所で発見され (久保田, 2006a,b), 最近では近郊の田辺市でも見つかった (久保田, 2008). 今回, 2009 年 10 月 12 日の深夜 0 時過ぎに, 瀬戸臨海実験所研究棟入り口で生きた成体 1 個体 (図 1) に遭遇したので記録する.

今回の発見で, 本種は瀬戸臨海実験所構内にこれまで出現した熱帯性のゴキブリ類では,

オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica* やワモンゴキブリ *Periplaneta americana* (檜山・久保田, 2002: 2 種とも 1994 年 1 月に檜山が初めて発見) に次いで, 第 3 種目の熱帯性ゴキブリ類となる. なお, 後藤 (2000) によると, 本種は白浜町では 1999 年に初めて発見されている.

(追記) 2008 年以降, 加藤哲哉技術職員が構内の宿舍の庭などに本種が多数生息しているのを確認していた情報を 2009 年 12 月に得た.

引用文献

- 檜山嘉郎・久保田 信. 2002. 和歌山県白浜町産の熱帯系ゴキブリ類 3 種(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 南紀生物, 44(2): 153-154.
- 久保田 信. 2006a. 久保田 信 著. 宝の海から白浜で出会った生き物たち. 233pp. 紀伊民報, 田辺市.
- 久保田 信. 2006b. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70): 10-11.
- 久保田 信. 2008. サツマゴキブリ (マダラゴキブリ科) を田辺市新庄総合公園の山道で発見. KINOKUNI, (73): 10.
- 後藤 伸. 2000. 虫たちの熊野. pp. 77-81, 初版第 1 版, 紀伊民報, 田辺市, 和歌山県.

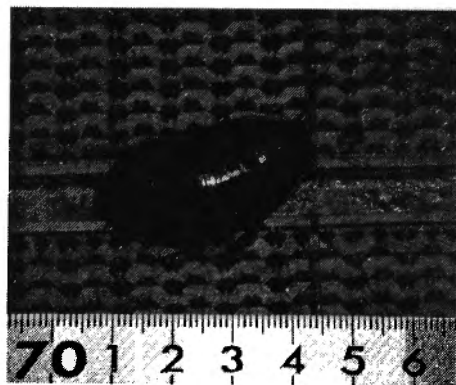


図 1. 瀬戸臨海実験所構内に 2009 年に出現したサツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis*